

どう守る三嶺・剣山系の森と里

ーシカ被害対策を考える・シンポジウム(4)ー

四国東部地域におけるシカの被害は、里地のユズや農作物から三嶺・剣山系の自然林まで、深刻な状況が続いております。このような状況について、流域の市民、行政関係者、環境保全活動に関わっている方々が共に共通認識を深め、自然の再生や「連携型管理捕獲」などについて考え、行動を進めるきっかけにしたいと考えています。また、基調講演では、早くからシカによる被害が頻発し、取組が進んでいる兵庫県の事例に学び、今後の参考にしたいと思っております。



(2010年4月) →
白髪山中腹部のウラジロモミの被害

【日時】 2011年1月30日(日) 13時15分～16時30分

【場所】 香美市立保健福祉センター香北 2階ホール

(高知県香美市香北町アンパンマンミュージアム隣：入場無料)

《基調講演》 13時30分～14時30分

横山真弓「増え続けるニホンジカ問題と兵庫県の取り組み」

横山先生プロフィール：兵庫県立大学・准教授 / 森林動物研究センター主任研究員

著書：「兵庫のいきものたち」(共著、神戸新聞総合出版センター)

「動物たちの反乱」(共著、PHPサイエンス・ワールド新書)、など

《地域からの報告》 14時40分～15時40分

報告1 剣山域におけるシカ被害の実態と対策 徳島県 森 一生

報告2 三嶺山域のササ原被害と再生対策

三嶺の森をまもるみんなの会・高知大グループ 石川慎吾

報告3 香美市におけるシカ被害と対策、保護区管理捕獲等の課題

香美市林政課 高橋 理

《質疑・応答・討論》 15時45分～16時30分

コーディネーター 奥村栄朗(森林総合研究所四国支所)

【主催】 三嶺の森をまもるみんなの会 問い合わせ先(坂本 088-850-0102、依光 0887-56-2366)

【共催】 林野庁四国森林管理局、環境省中国四国地方環境事務所、高知県、香美市、香南市、南国市

【後援】 高知新聞社・RKC高知放送、NHK高知放送局、朝日新聞高知総局 (申請中)

(本シンポジウムは「物部川流域ふるさと交流推進協議会」の環境保全活動助成を受けて実施します。)